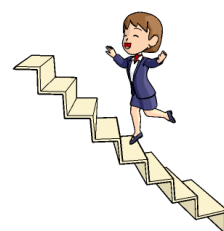


豊田西高校「SS課題研究」

主体的な研究の充実を目指した 自己評価用ルーブリックの作成



序

～ 1年生の課題研究に取り組んでいくために ～

「SS課題研究」は他の教科と異なり、考査を実施して、その点数で評価を行う教科ではありません。すなわち、客観的に学習活動の評価を別の方法で行う必要があります。その方法の一つとしてルーブリックによる評価があります。ルーブリックは学校だけでなく、企業においても業務に対する評価方法の1つとして利用されています。

本校では「SS課題研究」における全学年共通したルーブリック(一般的ルーブリック)があり、2、3年生はすでに、この冊子の中にある一般的ルーブリックを使って、それぞれ各個人のルーブリックを作成しています。

2年生からは文型・理型ともに主に3～5人のグループで研究班を作り、テーマを決めて、3年生の2学期まで研究活動を行います。今年度の「SS課題研究」の授業では、その研究活動を行うために必要な視点・研究手法等を実践も交えながら学んでいきます。

今回のルーブリックの作成では、研究活動を行うために自分が向上させたい資質や能力が何であるか自己分析をもとに決めてもらいます。そして伸ばしたい資質・能力について、一般的ルーブリックを参考にして、皆さん個々のルーブリックを作成してもらいます。

今回、作成したルーブリックをもとに、今年度の終わりに皆さんの課題研究の取り組みに対する評価を行っていただきます。毎回の課題研究の活動において、皆さんが作成したルーブリックを意識して取り組むようにして下さい。



()年 ()組 ()番 氏名

愛知県立豊田西高等学校「SS課題研究」

主体的な研究の充実を目指した自己評価用ルーブリックの作成

質問 1	豊田西高校での学習活動において、解決すべき最も重要な課題は何か？	メモ欄
---------	----------------------------------	-----

質問 2	①今、身に付いていると思う資質・能力を右の「3観点11項目の内容」から2つ選び書きなさい
	②今、足りないと思う資質・能力を右の「3観点11項目の内容」から2つ選んで書きなさい。

質問 3	③質問1のテーマに取り組むために、今後、授業での学びを深めていきたい科目は何か。2つ以上書け。
	④質問1のテーマに取り組むために、身に付けたい資質・能力を右の「3観点11項目の内容」から2つ選んで書きなさい。ただし「分類」AとBから1つ、CとDから1つ選んで書くこと。

質問 4	○自分の「強い力」は何だと思うか？
	○自分の「弱い力」は何だと思うか？

質問 5	○「今、自分が伸ばすべき力」ベスト1、2は何だと思うか？右のルーブリックを参考に書け ベスト1
	ベスト2

豊田西高校「SS課題研究」一般的ルーブリック

分類	3観点11項目の内容	レベル3 (目指すレベル)	レベル2 (概ね満足なレベル)	レベル1 (クリアすべきレベル)
A 探究で活用すべき知識・技能	1 各教科で身に付けた知識を課題研究で活用する力	各教科の学習内容を横断的に結び付けて、解決すべき研究上の課題を詳細にイメージすることができる。	各教科の学習内容や学習経験を、自らが取り組むべき研究テーマに結び付けることができる。	各教科の学習内容が、自分の興味や関心とどのように結び付くか考えている。
	2 観察・実験・調査の技能及びデータ活用力	観察・実験・調査を継続する中でよりの確な手法を見つけ出し、よりよいデータを得ることができる。	観察・実験・調査に正しい手法で取り組み、的確なデータを得ることができる。	観察・実験・調査の手法を理解して研究に取り組んでいる。
	3 研究結果を分析・構成・記述する技能	毎回の研究のプロセスを集約し、一連の物語として再構成して、他者に伝わりやすくまとめることができる。	毎回の研究結果を生かしながら、今後の研究の展開を見通してまとめることができる。	毎回の研究結果から得られた気づきなどをまとめることができる。
B 研究で発揮すべき能力	4 思考力（課題を発見し解決策を考える力）	各教科の学習内容及び過去の探究で得た知見を生かして、課題の解決策を考えている。	各教科の学習内容を生かして、課題解決に向けたポイントを整理できている。	研究を通して自分が解決すべき課題について、明らかにしている。
	5 判断力（事象等を正しく把握し判断する力）	毎回の研究結果の分析を積み上げて、研究の方向性を的確に整理、修正することができる。	毎回の研究結果を踏まえて、設定目標との距離を縮めるための対応策を考えている。	毎回の研究結果と設定した目標との距離を確認している。
	6 表現力（研究成果を的確に発信する力）	グループの考えを踏まえて積み上げた研究結果を分かりやすくまとめ、自分の言葉で表現することができる。	グループの考えに基づいて積み上げた研究結果を整理し、表現することができる。	毎時の研究内容を他者に説明したり、自分でまとめ直したりすることができる。
	7 創造力（イノベーションへの発想、国際性等の開かれた能力）	研究成果を他教科の学習内容と結び付け、新しいアイデアを提案したり今後の世界の動きを予測したりすることができる。	研究結果を生かして、新しいアイデア、今後予想される世界の変化等を具体的に考えることができる。	研究を通して、新しいアイデア、今後の世界の動き等を考えようとしている。
C 主体的に研究に取り組む態度	8 研究成果を日常生活や社会に活用しようとする態度	自分の研究成果を将来の社会の発展に生かすために、目標を具体的に設定している。	思い描いた自分の研究成果を実現させるために、目標を具体的に設定している。	自分の研究成果のありたい姿、あるべき姿を思い描いている。
	9 主体的に取り組む態度	自分が立てた課題の解決策を実践し、その結果を踏まえて今後の新たな課題と解決策を明らかにしている。	研究を通して自分が解決すべき課題に対する具体的な期日目標と期日行動を考え、実践している。	研究を通して自分が解決すべき課題と、その解決に向けた見通しを立てている。
	10 協働的に取り組む態度	他者の持ち味や考え方に配慮しながら自分の意見を的確に伝え、よりよい発想を導き出して研究に取り組むことができる。	研究活動での関わりを通して、他者の持ち味や考え方を理解しながら自分の意見を伝えることができる。	研究活動で周囲と関わりながら、他者と意見交流することができる。
	11 テーマを探究する態度	1年間の探究を踏まえて、計画通りに研究を完遂するポイントを明らかにしている。	毎回の振り返りを生かして、計画通りに研究を進めるための工夫と改善を重ねている。	見通しをもって研究計画を立案している。
総括	12 SS課題研究全体の成果検証（最終評価で活用）	「SS課題研究」を通して、将来イノベーションを創出する資質を身に付けることができる。	「SS課題研究」を通して、汎用的に生かせる課題解決の方法を身に付けることができる。	「SS課題研究」を通して、自分で考えて探究する姿勢を身に付けることができる。

「3観点11項目」分析アンケート 問題用紙

＜注意＞回答時間が短いので、あまり考え込まず、直感的に判断すればよい。

No.	問 題	No.	問 題
1	教科の学習内容が自分の興味や関心とどのように結び付くか考えているか。	19	研究結果を生かして、新しいアイデア等を具体的に考えることができるか。
2	観察・実験・調査の手法を理解して研究に取り組んでいるか。	20	思い描いた自分の研究成果を実現させるために、目標を具体的に設定しているか。
3	毎回の研究結果から得られた気付きなどをまとめることができるか。	21	研究を通して自分が解決すべき課題に対する具体的な目標・行動を考えているか。
4	研究を通して自分が解決すべき課題について、明らかにしているか。	22	他者の持ち味や考えを理解しながら自分の意見を伝えることができているか。
5	毎回の研究結果と設定した目標との距離を確認しているか。	23	研究を振り返りながら、計画通りに研究を進めるための工夫と改善を重ねているか。
6	毎時の研究内容を他者に説明したり、自分でまとめ直したりすることができるか。	24	課題研究を通して、汎用的な課題解決の方法を身に付けることができるか。
7	研究を通して、新しいアイデア、今後の世界の動き等を考えようとしているか。	25	各教科の学習内容を横断的に結び付けて、課題をイメージすることができるか。
8	自分の研究成果のありたい姿、あるべき姿を思い描いているか。	26	研究を継続する中でよりの確な手法を見つけ出し、よりよいデータを得ているか。
9	研究を通して自分が解決すべき課題と解決に向けた見通しを立てているか。	27	毎回の研究のプロセスを集約し、一連の物語としてまとめることができるか。
10	研究活動で周囲と関わりながら、他者と意見交流することができているか。	28	各教科の学習、過去の探究で得た知見を生かして課題の解決策を考えているか。
11	見通しをもって研究計画を立案しているか。	29	毎回の研究結果の分析を積み上げて、研究の方向性を的確に整理できているか。
12	課題研究を通して、自分で考えて探究する姿勢を身に付けることができると思うか。	30	研究結果を自分に分かりやすくまとめ、自分の言葉で表現できるか。
13	教科の学習内容を自らが取り組む研究テーマに結び付けることができているか。	31	他教科の学習内容を研究成果と結び付けて、新しいアイデアを考えているか。
14	正しい手法で研究に取り組み、的確なデータを得ることができているか。	32	研究成果を将来の社会の発展に生かすため、目標を具体的に設定しているか。
15	毎回の結果を生かしながら、今後の研究の展開を見通してまとめることができるか。	33	自分が立てた課題の解決策を実践し、新たな課題と解決策を明らかにしているか。
16	各教科の学習内容を生かして、課題解決に向けたポイントを整理できているか。	34	他者に配慮しながら自分の意見を伝え、よりよい発想を導き出せているか。
17	毎回の研究結果を踏まえ、設定目標との距離を縮める対応策を考えているか。	35	計画通りに研究を完遂するポイントを明らかにしているか。
18	積み上げた研究結果をグループの考えに基づいて整理し、表現できるか。	36	課題研究を通して、イノベーションを創出する資質を身に付けることができるか。

「3 観点 1 1 項目」分析アンケート 回答用紙

5 : よく当てはまる 4 : まあ当てはまる 3 : どちらともいえない
 2 : あまり当てはまらない 1 : 当てはまらない

のうち、一つを選び記入する。あまり考え込まず、直感的に判断すればよい。

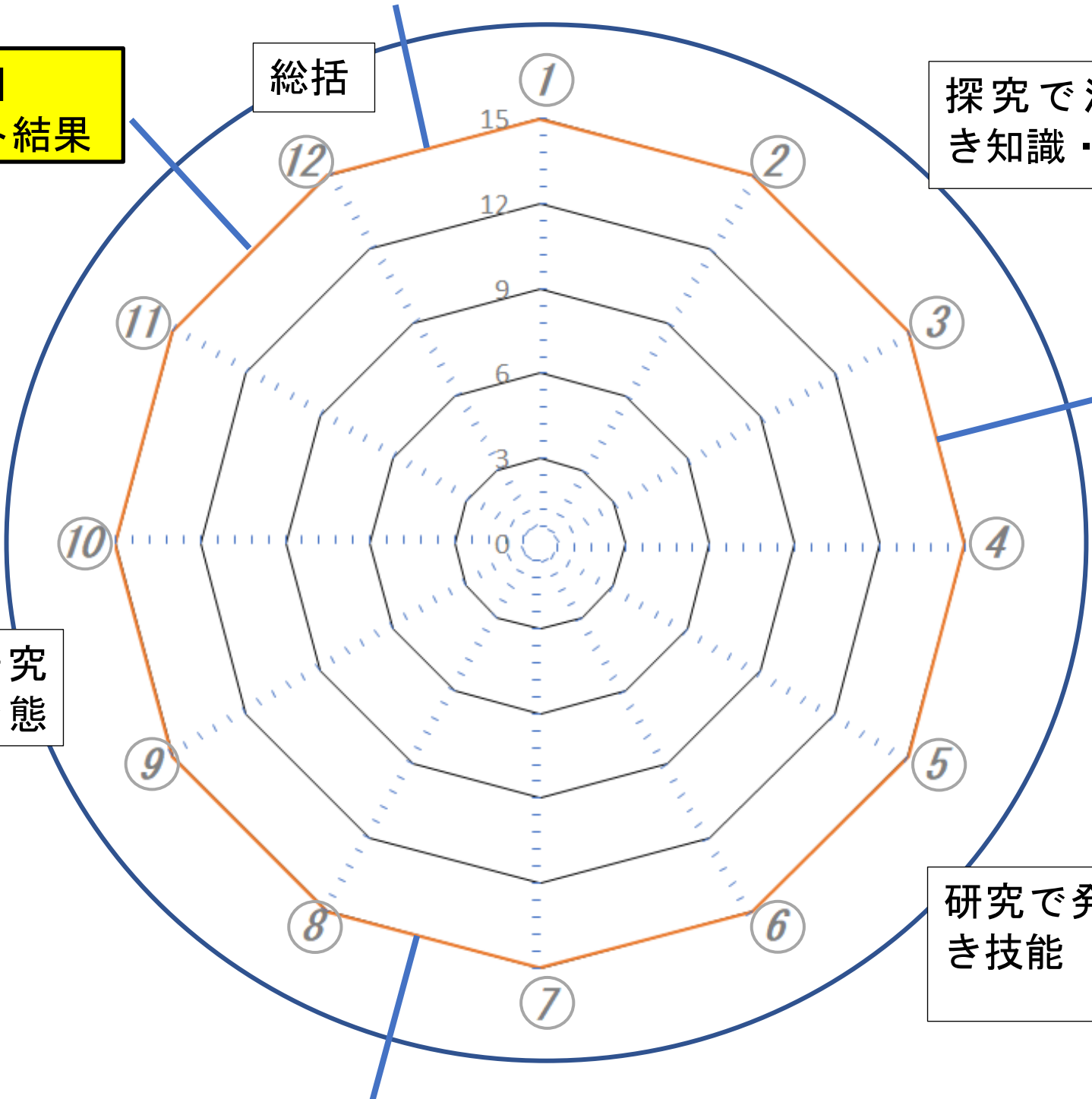
5

No.	回答	No.	回答	No.	回答
1		1 3		2 5	
2		1 4		2 6	
3		1 5		2 7	
4		1 6		2 8	
5		1 7		2 9	
6		1 8		3 0	
7		1 9		3 1	
8		2 0		3 2	
9		2 1		3 3	
1 0		2 2		3 4	
1 1		2 3		3 5	
1 2		2 4		3 6	

3 観点 1 1 項目
分析アンケート結果

総括

探究で活用すべき知識・技能



主体的に取り組む態

研究で発揮すべき技能

「3観点11項目」分析アンケート 集計用紙

回答用紙に記入した点数を、横の列の質問三つで集計する。結果をレーダーチャートに記入し、分析を深める。

問題 No.	合計点数	該当する力	カテゴリー
1・13・25		① 各教科で身に付けた知識を課題研究で活用する力	探究で活用すべき知識
2・14・26		② 観察・実験・調査の技能及びデータ活用力	
3・15・27		③ 研究結果を分析・構成・記述する力	
4・16・28		④ 思考力（課題を発見し解決策を考える力）	研究で発揮すべき能力
5・17・29		⑤ 判断力（事象等を正しく把握し判断する力）	
6・18・30		⑥ 表現力（研究成果を的確に発信する力）	
7・19・31		⑦ 創造力（イノベーションへの発想、国際性等の開かれた能力）	
8・20・32		⑧ 研究成果を日常生活や社会に活用しようとする態度	主体的に研究に取り組む態度
9・21・33		⑨ 主体的に取り組む姿勢	
10・22・34		⑩ 協働的に取り組む姿勢	
11・23・35		⑪ テーマを探究する姿勢	
12・24・36		⑫ 総括（SS課題研究全体の成果検証）	総括

愛知県立豊田西高等学校「SS課題研究」 主体的な研究の充実を目指した自己評価用ルーブリックの作成

()年 ()組 ()番 氏名

目標達成・課題解決への取組の期間：令和4年 月 日～令和5年 月 日

<ルーブリック作成上の留意点>

- 1 今回設定する課題解決・目標達成の取組の期間は、1年生は「SS課題研究r1」終了まで、2年生は「SS課題研究r2」の終了まで、3年生はSSH成果発表会までとする。
- 2 P2の質問4・5を参考に考える。
- 3 ルーブリックに記載する文章はP3の「一般的ルーブリック」を参考に記載して、自分自身でアレンジすること。
- 4 各レベルの正しい判断ができるように各レベルの内容を考えること（単純なノルマの輪切りにしない。また、「上手に」「適切に」「きちんと」「ほぼ」など、判断の基準が明確でない表現は避ける。）
- 5 達成度を評価するためものなので、「～できていない」という表記は避ける。

		達成度（評価の判断基準）			評価結果	振り返りと今後の改善策 （評価時に記入）
		レベル3 （目指すレベル）	レベル2 （概ね満足なレベル）	レベル1 （クリアすべきレベル）		
高めたい力 （評価する観点）						